

## 第2学年 美術科学習指導案

平成30年11月7日(水) 第5校時

場所 デザイン室

- 1 題材名 見たことのない美味しそうな果物  
A表現(1)(ア)・(2)(ア)(イ)、B鑑賞(1)(ア)

### 2 題材について

#### (1) 単元(題材) 観

中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説では、第2学年及び第3学年の目標『知識・技能』について、「第1学年の学習を通して理解したことを更に深めたり、学んだ知識を柔軟に活用したりして造形的な視点をより豊かにし、表現及び鑑賞に関する資質・能力が高められるようにする」とある。また、「主題などを基に、意図に応じて様々な技能を応用したり、工夫を繰り返して自分の表現方法を見つけ出したりして、より独自の表現を目指して多様な表現方法や技法について追求することが大切である」とある。この目標に基づいて、生徒は、第1学年で「鉛筆デッサン」「絵文字のデザイン」「頭像づくり」「部活動紹介ポスターのデザイン」などの題材に取り組んできた。第1学年で学んだ造形的な視点をさらに豊かにするため、第2学年1学期には、「心の中の世界」を描く活動に取り組んだ。対象をよく観察して制作する課題と、自らが考え想像して制作する課題を織り交ぜながら、多様な表現方法や技法について学習を進めている。

今回行う「見たことのない美味しそうな果物」の制作では、普段身近にあり、幼少の頃から見慣れている「果物」という食べ物をいかにして「今まで見たことのないもの」にするか、また、美味しそうに見えるようにするにはどうしたらよいかを考えることが課題となる。さらに、自分の制作した果物を「ありそうでないもの」にすることも、ポイントとなる。ややもすると、生徒が作品を「めちゃくちゃなもの」にしてしまうこともあるので、「まだ発見されていないが、どこかの土地には実際にある」ということをあらかじめ設定している。制作するものは、全体像と半分カットした部分の2つである。今回は、外側には細かい造形ができる粘土を使用し、果実の部分には透明感の出る樹脂粘土を使用する。さらにみずみずしさを出すために専用のニスも使用する。

#### (2) 指導観

生徒が独創的なアイデアを生み出すための手立てとなるように、日本ではあまり見られないようなトロピカルフルーツの写真を参考に見せている。また、昨年度の作品を参考作品として展示してある。しかし、生徒にはあまり先入観をもたずに制作して欲しいという願いもある。自分の考えで形を作り上げていくように、既存の果物にあまりに似てしまっている場合には、「今まで見たことがないもの」という視点を確認させ、自分独自の作品となるようにアドバイスしていく。また、「見た目」「美味しさ」「ありそうでないもの」などいくつか条件を設けてはいるが、生徒の自由でユニークな発想は大切にしたい。そのバランスを考えながら、生徒にとって納得のいく作品が制作できるよう指導していく。

「主体的・対話的で深い学び」を行う上で、まずアイデアの展開や考えを具現化するための自らの計画づくりが主体的な制作の第一歩となる。使用する粘土によって乾燥の時間が異なるため、計画的に作業をしないと時間が無駄になってしまう。また、次のような場合もある。粘土に限りがあるため、全体像を制作する際には、中に芯を入れる必要がある。新聞紙を丸めてガムテープで固くすることが一般的だが、芯になり得る何かを家から持ってくることも計画的に、自分で考えていかねばならない。表面をつるつるにするためには木工ヤスリや紙ヤスリを使うこともある。このように、作品をよいものにするために、材料や道具を選ぶことも技能の一つである。当然、「こういうときには、こういう手法がある」ということは生徒に指導するが、前述のように生徒が主体的に考え制作していくことが、自分の作品との「対話」になっていくのである。友達と話し合うことだけが「対話」ではなく、自分の作品と真剣に向き合っていくことも大事な対話である。このように制作する上で様々な工夫や試行錯誤をしていくことが、ひいては深い学びになると考える。

### (3) 学校研修課題と題材との関わりについて

なりたい自分を想像（イメージ）し、やりきる自分に誇りをもてる生徒

本校では、道徳教育・学力向上・進路キャリア教育で研修を行っている。その中でもまず、「なりたい自分を想像すること」が大切である。これは、「こういう人間になりたい」「こういう力をつけたい」という自分像をつくり出し、そうなるためにはどうしたらよいかを考え、実践していくことであり、具体的な職業や夢をもつことに限らない。「なりたい自分になるために今何をしたらよいか」という計画を立て実践していくことと、「自分のつくりたいものを制作するためにどうしたらよいか」という計画を立て実践していくことは、よく似ている。そして納得のいく作品が仕上がったときには、「やりきった」という充実感とともに「できる」という自信につながっていき、やがて自分に誇りをもてるようになるのではないだろうか。したがって、今回の制作を通じて「完成形（自分像）をイメージしながら計画を立て、実践する」ということを学んでもらいたいと考える。

### 3 学習指導要領上の位置づけ

#### A表現 (1)(ア)【思考力、判断力、表現力】、(2)(ア)(イ)【技能】

- (1)(ア) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。
- (2)(ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。  
 (イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。

#### B鑑賞 (1)(ア)【思考力、判断力、表現力】

造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

共通事項 (1) 【知識】
ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

#### 4 題材の目標及び評価規準

##### (1) 題材の目標

○造形的な視点をより豊かにするとともに、意図に応じて様々な技能を応用したり、工夫を繰り返して自分の表現方法を見つけ出したりして、より独自の表現を目指して多様な表現方法や技法について追求する。【知識及び技能】

○自然の造形のよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練る。【思考力、判断力、表現力】

##### (2) 評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>関</b> 主体的に活動し、工夫を繰り返して独自の表現を目指している。	<b>発</b> 「見たことのない美味しそうな果物」というテーマを基に、新しい果物の造形を、題材の条件を満たすように主題を生み出し、構想を練る。	<b>創</b> 自分の思い描く造形になるよう、道具を選び、使用するとともに工夫を繰り返して形にしている。	<b>鑑</b> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、自分の価値意識で味わっている。

#### 5 指導計画・評価計画 (12時間扱い)

学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
1 学習内容を理解し、アイデアを練るとともに、制作の計画を立てる。 (2時間)	○	○			<b>関</b> <b>発</b> ワークシート、アイデアスケッチ
2 材料の特性を考えながら計画的に制作を進める。 (9時間)	○		○		<b>関</b> 表情、観察、対話 <b>創</b> 作品、観察、対話
3 鑑賞 (1時間)	○			○	<b>関</b> 表情、観察、対話 <b>鑑</b> 対話、記述

#### 6 本時の学習 (本時6 / 12時間)

(1) 目標 各自の計画に従い、自分の作品と対話をしながら作業を進める。

##### (2) 準備

○教師：金ヤスリ、紙ヤスリ、糸のこぎり、すけるくん (樹脂粘土)、粘土板

○生徒：教科書、ファイル、スケッチブック、筆記用具

7 展開

過程・時間	主な学習活動	指導上の留意点 〔共〕 共通事項に係る内容	評価と手立て 観点: 評価規準【評価方法等】 ◎A評価 ◆C評価 (支援) ★研修課題との関わり
導入 3分	○今日の自分の計画を確認する。	○前時の段階で計画通りにいかなかった生徒には、計画の練り直しや、制作への集中を促す。	<div data-bbox="240 517 1410 591" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【本時の目標】 各自の計画に従い、自分の作品と対話をしながら作業を進める。</p> </div> 関興味・関心を持って授業に取り組もうとしている。 【表情・観察】
展開 40分	○自分の計画に沿って作業を進める。	○進行状況から、つまずいている生徒と中心に対話をし、作業が進むようにしていく。  ○制作の上で新たに出た留意点があれば、その都度説明する。  ○その造形的特徴から、自分の制作している作品がイメージ通りになっているのかを理解して、制作を進めていくよう声かけをする。【共】  ○制作途中で、作品をよりよくくする発想・構想が生まれたときには、それを大事にして制作を進めるよう言葉がけをする。  ○各自の計画によって進度が違うため、机間支援をしながら個別に適切な指導・助言をしていく。	関興味・関心を持って授業に取り組もうとしている。 【表情・観察・対話】  ★自分の計画通りに進めることができるよう、意欲的に作業をしている。  創自分の発想したことを形の中に効果的に取り込み、工具や材料などを工夫をしながら作業している。【作品・対話】  ◎自分の表現したい形に近づけることができている。  ◆つまずいている生徒に対して、どこでつまずいているかを把握し、適切な指導・助言をする。

<p>ま と め 7 分</p>	<p>○片付けと本時の振り返り</p>	<p>○道具を適切に片付けるとともに、床の掃除をする。</p> <p>○本時の進行状況と次回の計画を確認するとともに、変更する必要がある場合は次回の計画を練り直す。</p>	<p>関 本時を振り返り、次回の計画を確認している。</p> <p><b>【表情・観察】</b></p>
----------------------------------	---------------------	--	--

## 私の授業の観てほしいポイント

《付箋の活用方法》 青：授業の良かった点  
赤：授業の改善点  
黄：改善提案（こういう方法はどうか）

所属校・学年 三郷市立彦糸中学校 2年  
題材名 見たことのない美味しそうな果物  
学習内容 各自の計画に従い、作品と対話しながら制作を進めよう

① 導入 ・ワークシートによって本時の計画を確認し、制作の見通しを立てられているか。

② 展開 ・自分の計画に沿って意欲的に制作を進めているか。  
・生徒一人一人と対話することで、自分の発想したことを形の中に効果的に取り込み、工具や材料などを工夫しながら制作しているか。

③ まとめ ・本時の進行状況と次回の計画をワークシートで確認しながら、次回の計画を見直したり、練り直したりしているか。